

2022年度秋季関東大学バレーボールリーグ戦

新型コロナウイルス対応指針

目次

- I、はじめに
 - II、基本的な考え方
 - III、基本的な本人の対応
 - IV、基本的なチームの対応
 - V、大会関係者全体の取り組み
 - VI、本プログラムでお示しする対応指針
 - VII、大会2週間以前から大会開幕までの対応
 - VIII、大会期間中の対応
 - IX、大会当日の朝の対応
 - X、大会終了後の対応
- 参考文献

I、はじめに

大会を開催するにあたり、公益財団法人日本バレーボール協会による「バレーボール競技に関わる大会等の再開時のガイドライン」、関東大学バレーボール連盟による「2022年度春季関東大学バレーボールリーグ戦」感染者等の対応については、「新型コロナウイルス対応指針」以上3つの内容を踏まえ、大会参加者及び大会運営者は遵守すること。不測の事態、またはその他記載されていない内容については、保健所の指示を仰ぎ、大会実行委員会にて判断する。

II、基本的な考え方

基本的に保健所による指示・基準に従うこと。保健所の基準に対応・記載等がない場合は大学及び部活動による基準に準ずること。大学による基準がない場合は本ガイドラインに則ることとする。

感染症を広げない為には、体調不良を感じた際

- ①体調の変化を無視せず、チーム関係者へ相談すること
- ②体調不良の際、速やかにチーム関係者および運営者へ報告すること以上のような個人及びチームでの判断・報告が大切になります。感染症は、いくら予防していてもかかってしまう恐れがあります。当連盟は、大会に参加する皆様の感染予防の取組を最大限考慮した上で、大会を開催します。
“感染者を増やさない” ためにも、体調不良時には参加できない旨をお伝えください。

●本指針での濃厚接触者疑いの基準

濃厚接触者とは、患者（陽性と判定された方）の感染可能期間に接触した方のうち、次の範囲に該当する方となる。

- ・陽性者（陽性疑い者）1 m以内で必要な感染予防なし（マスク着用等）で15分以上会話したもの
- ・陽性者（陽性疑い者）と同居あるいは長時間の接触（車内、航空機内等を含む）がある。
- ・陽性者の分泌物や体液等に触れた可能性のあるもの

＜例＞寮や宿泊施設で同室の人、トレーナー（マスクや手袋なしで処置したもの）・陽性者（陽性疑い者）と必要な対策をせずに飲食を共にしたもの

※必要な対策とは、距離（1人おき交互など）、食事時間、会話を慎む、食事前の手指消毒等をいう

●本指針での感染疑いを含む体調不良の基準

- ・大会前2週間以内、または期間中に37.5度以上の発熱が2日間以上あること・咳・喉の痛み・倦怠感・味覚異常・嗅覚異常等があること

●本指針でのクラスターの基準

陽性者及び濃厚接触者がチーム内感染により5名以上出た場合

●感染者の復帰タイミングについて

感染者の復帰タイミングについては保健所の指示に従うことに加え、PCR検査、抗原検査等の検査方法により陰性が確認できることを条件とする。自宅療養解除もしくは完治診断からの復帰においては体力低下や体調がすぐれないケースもあるため、医療機関等と相談しながら選手の復帰タイミングを検討すること。

●延期、棄権の取り扱いについて

各大学内でクラスター(陽性者及び濃厚接触者がチーム内感染により5名以上発生)が発生した場合のみ延期、棄権の申し出を受諾することとする。また、大学側により大会への出場の許可が下りない、部活動が活動停止となっている場合は、これに当てはまらず、そのチームは出場停止とし該当試合は延期、および未消化試合として扱う事とする。

※活動停止等の措置がなく、主力選手、レギュラーメンバー1名が体調不良のため延期、は認めない。

※虚偽の申告がなされた場合、規律委員会にかけ処罰の対象とする。

III. 基本的な本人の対応

●感染疑いを含む体調不良者に対する対応

基準の症状があった場合37.5度以上の発熱が2日間続いた場合は医療機関または保健所に連絡し指示に従うこと。また、発熱症状がなくても症状が続いた場合、特に呼吸困難、倦怠感などの強い症状が発生した場合も医療機関または保健所に連絡し診断結果が出るまで待機すること。その後、直ちに本連盟へ報告を行うこと。

→本人陽性の場合

医療機関または保健所により濃厚接触者の有無の確認

※医療機関または保健所により濃厚接触が確認できない場合は大学及び部活動による濃厚接触疑いの判断基準に準ずること。大学による基準がない場合は本ガイドラインの判断基準に準ずること。

→本人陰性の場合

本人は試合参加可能

●濃厚接触者に対する対応

○本人の身近な人が感染疑いを含む体調不良となった場合

本人の身近な人の医療検査の結果が判明されるまで自主隔離の上、試合参加を見合わせる。

→結果陽性の場合

本人は濃厚接触者として医療検査受診

→結果陰性の場合

本人は試合参加可能

○本人の身近な人が濃厚接触者と認定された場合

本人は身近な人の医療検査の結果が判明されるまで自主隔離の上、試合参加を見合わせる。

→結果陽性の場合

本人は濃厚接触者として医療検査受診

→結果陰性の場合

本人は試合参加可能

○本人の身近な人が陽性と認定された場合

本人が濃厚接触者のため、自主隔離の上、医療機関または保健所に連絡し指示に従うこと。

IV. 基本的なチームの対応

●新型コロナウイルス陽性者発生後のリーグ戦参加について、大学側からの活動許可、参加許可があり、試合ができる人数がいる場合参加するものとする。

(ただし、長期間活動を停止していた場合について故障のリスクがあるため、ある程度練習をしてからの参加とする。また、主力選手が復帰できていないなどの理由での棄権、延期は認められない。)

●チーム関係者に感染疑いを含む体調不良者が確認された際の対応

当該者と接触があったチーム関係者・大会運営者の確認及び該当者の行動歴を確認し、必要であれば提示できるよう準備しておく。

〈当該者が陽性の場合〉

濃厚接触及び濃厚接触疑いのあるチーム関係者・大会運営者は活動停止し自主隔離及び経過観察を行う。

濃厚接触がなく濃厚接触疑いもなく症状も無い場合は試合参加可能とする。

●チーム関係者に濃厚接触者が確認された際の対応

当該者と接触があったチーム関係者・大会運営者は経過観察を行うこと。

●クラスターが発生した場合

基本的にチーム内でのクラスター（陽性者および濃厚接触者がチーム内感染により5名以上）が発生した場合は、当該チームを試合不可とする。ただし、当該者及び濃厚接触者以外の選手に症状等がない場合は保健所の指示に従うとともに大学より許可が得られ、PCR検査、抗原検査等の検査方法により陰性が確認された場合は学連に報告し試合参加を検討することとする。

また、クラスター(5人以上の陽性者)が発生した場合、また5名以下の陽性者であってもチーム全体の活動が停止している場合、大学からの活動停止を命じられている場合は出場停止とする。

●対戦チームに感染疑いを含む体調不良者、濃厚接触者、陽性者が発生した場合

保健所の基準に従い判断する。試合参加可能と判断された場合も経過観察をし、症状がないことを確認すること。

V. 大会関係者全体の取り組み

【大会期間前の対応】

大会運営関係者・チーム関係者には

①ONETAP SPORTS を使用し、大会 2 週間前(8月20日)からの体温を記録する。

②新型コロナウイルス接触確認アプリ (COCOA) のダウンロードを推奨する。

※COCOA については正常に動作するよう設定を行っておくこと。

以上による、体調管理を行うこととする。

【大会期間時の対応】

今回、(一財) 関東大学バレーボール連盟として、感染症対策窓口を開設しました。大会期間前・中・後の体調不良者、また感染症発症者(新型コロナウイルス、インフルエンザ等)が出た際、報告窓口への報告に活用すること

報告窓口 (一財)関東大学バレーボール連盟 感染症対策窓口 [mail : health@juvf.jp](mailto:health@juvf.jp)

※感染者が確認された場合、その確認当日に学連の各部担当者から使用会場の事務局及び対応窓口にご連絡致します。

【大会参加者へ向けた対応】

①ONETAP SPORTS を使用し大会 2 週間前から 2 週間後の体温を記録する。(8月20日以降)

また、記録した 2 週間分のデータをまとめて出力したものを試合前日の金曜日 18:00 までに vaital@juvf.jp に送信すること。

(大会初戦の場合、2 週間分をまとめて前日の金曜日に送信する。2 週日以降の場合 1 週間分をまとめて試合前日の金曜日に送信する。)

②大会前 2 週間における以下の事項の有無 (全員分)

ア 平熱を超える発熱

イ 咳(せき)、のどの痛みなど風邪の症状、嗅覚や味覚の異常

ウ 体が重く感じる(だるさ、倦怠感)、疲れやすい、息苦しい(呼吸困難)等

エ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無

オ 同居家族や身近な知人の中で感染が疑われる方の有無

カ 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航

又は当該在住者との濃厚接触の有無 ⇒ 該当する項目がある場合、勇気をもって参加を控えること

③大会当日の体温(全員分) ※37.4度以下であること

【会場入場時について】

・入場の際には必ずマスクをしていること。また、入り口の消毒液で、手指の消毒を行い入場すること。

・入場したら、受付に行き検温を済ませること。

・検温を済ませたら速やかに、自チームの待機場所へ向かうこと。

※移動経路については運営者からの指示に従うこと。

会場入場時に体温が37.5度以上あった対象者に対しては以下の通りとする

①再度体温を測り直し、それでも37.5度以上の場合、会場に入場させないこと。

②自宅(宿泊先)に一人で戻り待機すること。

③帰宅後また翌朝以降も熱が下がらない場合には、保健所に連絡の上指示に従う主務は、当該者について帰宅後と翌朝の体温を学連に連絡すること。

④一緒に来場した選手等に関して、熱や味覚等の症状がない場合は入場を認める

- ⑤熱を出した大会参加者が PCR 検査陽性であった場合は、保健所の指示に従う。PCR 検査陰性の場合は、医療機関と監督の判断により大会への参加を認める。

VI. 本プログラムでお示しする対応指針

大会2週間前から大会2週間までに選手、チーム関係者、大会関係者もしくは同居家族から発熱を始めとする症状（感染疑い）が出た場合についての対応指針。

基本的には、大会会場の近隣の保健所、医療機関等に確認が取れることを想定しており、対応が間に合わない場合には自宅もしくは遠征先での待機とする。また、経過観察を行うこととする。

基本的な対応・速やかに、チームの代表者及び学連員に報告し、保健所に連絡し指示に従うこと。なおその際の移動は、出来る限り公共交通機関は使用せずに移動する。病院での受診結果を学連の専用窓口で報告する。

VII. 大会2週間以前から大会開幕までの対応

大会運営関係者・チーム関係者には

①ONETAP SPORTS を使用し大会2週間前(8月20日)以降の体温を記録する。

②新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）のダウンロードを推奨する。

※COCOAについては正常に動作するよう設定を行っておくこと。

以上による、体調管理を行うこととする。

●個人の大会参加判断基準について

- ・陽性者および濃厚接触者と判明した者の隔離期間が試合前日までに終了していない場合は、大会出場は不可とする

●陽性者が発生した場合

「II. 基本的考え方」及び「III・基本的本人の対応」、「IV. 基本的チームの対応」に則る。

●濃厚接触者が発生した場合

「II. 基本的考え方」及び「III・基本的本人の対応」、「IV. 基本的チームの対応」に則る。

●感染疑いを含む体調不良者が発生した場合

「II. 基本的考え方」及び「III・基本的本人の対応」、「IV. 基本的チームの対応」に則る。

VIII. 大会期間中の対応

大会運営関係者・チーム関係者には

①ONETAP SPORTS を使用し体温を記録する。（1週間分をまとめて出力し金曜日18:00までに提出）

②新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）のダウンロードを推奨する。

※COCOAについては正常に動作するよう設定を行っておくこと。

以上による、体調管理を行うこととする。

●個人の大会参加判断基準について

- ・陽性者および濃厚接触者と判明した者の隔離期間が試合前日までに終了していない者は、大会出場は不可とする

●試合当日に感染疑いを含む体調不良者、濃厚接触者が発生した場合

医療機関または保健所に連絡し診断結果が出るまで待機すること。陰性確認ができるまで試合への出場は不可とする。

●陽性者・濃厚接触者が発生した場合

- ①チーム内クラスターが発生（陽性者または濃厚接触者がチーム内感染により5名以上）した場合は、当該チームのその週の試合参加を認めない。ただし、当該者及び濃厚接触者以外の選手に症状等がない場合は保健所の指示に従うとともに大学より許可が得られ、PCR検査、抗原検査等の検査方法により陰性が確認された場合は学連に報告し、試合参加可能か検討することとする。
- ②陽性者または濃厚接触者が判明した場合、必ず大会実行委員会に報告することその後大会実行委員会の協議によりチームの大会参加について判断する
- ③保健所の指示に従い、随時当連盟へ報告する
- ④当該チームの参加が認められなかった場合、当該チームは延期及び棄権とする。
- ⑤相手チーム・補助役員・審判員等の対応についても保健所の指示に従うものとする。

●感染疑いの症状を含む体調不良が判明した場合

- ①当該者が当日来場していた場合、また来場していない場合についても医療機関を受診し、結果を当連盟へ報告すること。
- ②一緒に来場した選手等に関して、症状がない場合は大会実行委員会の判断により当日の大会参加を認める。
- ③当日の朝・夜、翌朝の体温を当連盟へ報告
37.4度以下の場合
⇒・症状等無ければ大会参加可能
・症状が少しでもあれば大会参加不可
37.5度以上の場合
⇒・自宅（宿泊施設）待機とする
※症状が続く場合は医療機関または保健所に連絡し、指示に従い当連盟に報告する

IX. 大会当日の朝の対応

○会場に来て次該当する場合は入場を拒否する

- ・検温の結果37.5度以上の発熱がある場合
- ・健康チェックシートの提出がなされていない場合
- ・事前に入館申請がなされていない場合

●大会当日の会場の検温にて37.5度以上あった場合

- ①再度接触型の体温計で測り直し、それでも37.5度以上の場合、入場を拒否する
- ②そのまま医療機関を受診し、医師の指示に従い、当連盟へ報告する
- ③帰宅後また翌朝以降も熱が下がらない場合には、医療機関または保健所に連絡の上、指示に従う
主務は、当該者について帰宅後と翌朝の体温を学連に報告すること

- ④一緒に来場した選手等に関して、症状がない場合は入場を認める
- ⑤その後、当該者が陽性であった場合は、「Ⅲ・基本的本人の対応」、「Ⅳ. 基本的チームの対応」に則り、大会実行委員会の協議によりチームの大会参加について判断する。
陰性の場合は「Ⅱ. 基本的な考え方 感染者の復帰タイミングについて」に則る。
※複数のチームから陽性者が出た場合、大会実行委員会の判断により大会中止とする可能性もある

X. 大会終了後の対応

- 大会終了後2週間、ONETAP SPORTSにて体調管理を行う。
(2週間分のデータが揃い次第提出)
※健康チェックシートでの管理を行っているものは、自己管理用のシートを用いて体調管理を行う
- 陽性者・濃厚接触者が出た場合、体調不良者が発生した場合
 - ①保健所に必ず連絡し、指示に従う
 - ②保健所からの指示内容も含め、当連盟へ随時報告する
⇒大会終了後の体調管理の記録及び行動履歴を提出する
 - ③陽性者が出た場合、保健所の指示に従い関係するチーム・補助役員・審判員等についても対応する

参考資料

- ・厚生労働省

「新型コロナウイルスに関する Q&A 」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/dengue_fever_qa_00001.html#Q3-3

- ・公益財団法人日本バレーボール協会

「バレーボール競技に関わる大会再開時のガイドライン」

<https://www.jva.or.jp/topics/uploads/2684/8abbc7d3dd799d920b16cb522595e3a.pdf>

- ・一般社団法人日本バレーボールリーグ機構

「新型コロナウイルス対策ガイドライン（第7稿）」

https://www.vleague.jp/common/pdf/covid19_guideline_7th_20201006.pdf

- ・一般社団法人Tリーグ

「Tリーグ新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」

<https://saas.actibookone.com/content/detail?param=eyJjb250ZW50TnVtIjo2OTc3N30=&detailFlg=0>